

食品機能性データベースを公開

食品に含まれる機能性成分含量や機能性評価値を掲載

成果の特徴

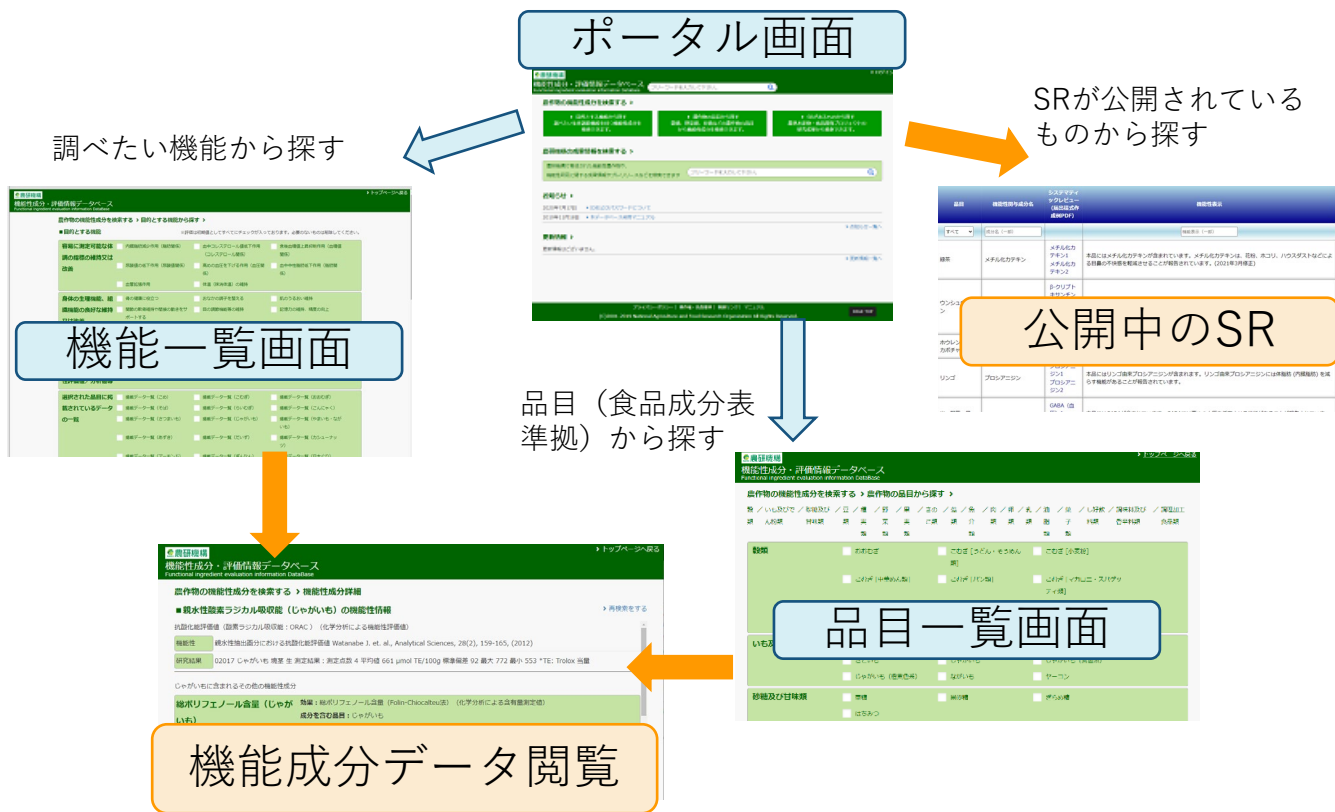
- ・農産物を中心に、機能性成分の含有量や抗酸化能等の機能性評価値を掲載した「機能性成分・評価情報データベース」を公開しました。

成果の内容

- ・食品研究部門ウェブサイトの注目コンテンツからアクセスできます。
(<https://www.naro.go.jp/laboratory/nfri/contens/ffdb/index.html>)



こちらの注意事項をご確認の上、「同意して利用する」ボタンを押すと、データベースのポータル画面に移動します。利用方法は、「調べたい機能から探す」、「品目から探す」の他に、機能性成分名などのフリーワード検索も可能です。農研機構で公開中のSR（システマティックレビュー）もこちらから検索できます。



成果の活用

・生鮮食品では、機能性関与成分一日当たりの摂取目安量の50%以上の量が含まれていれば機能性表示ができます。本データベースを利用することで、「摂取目安量を充足するために、他にどのような食品を組み合わせたらよいか」、などの情報が得られます。